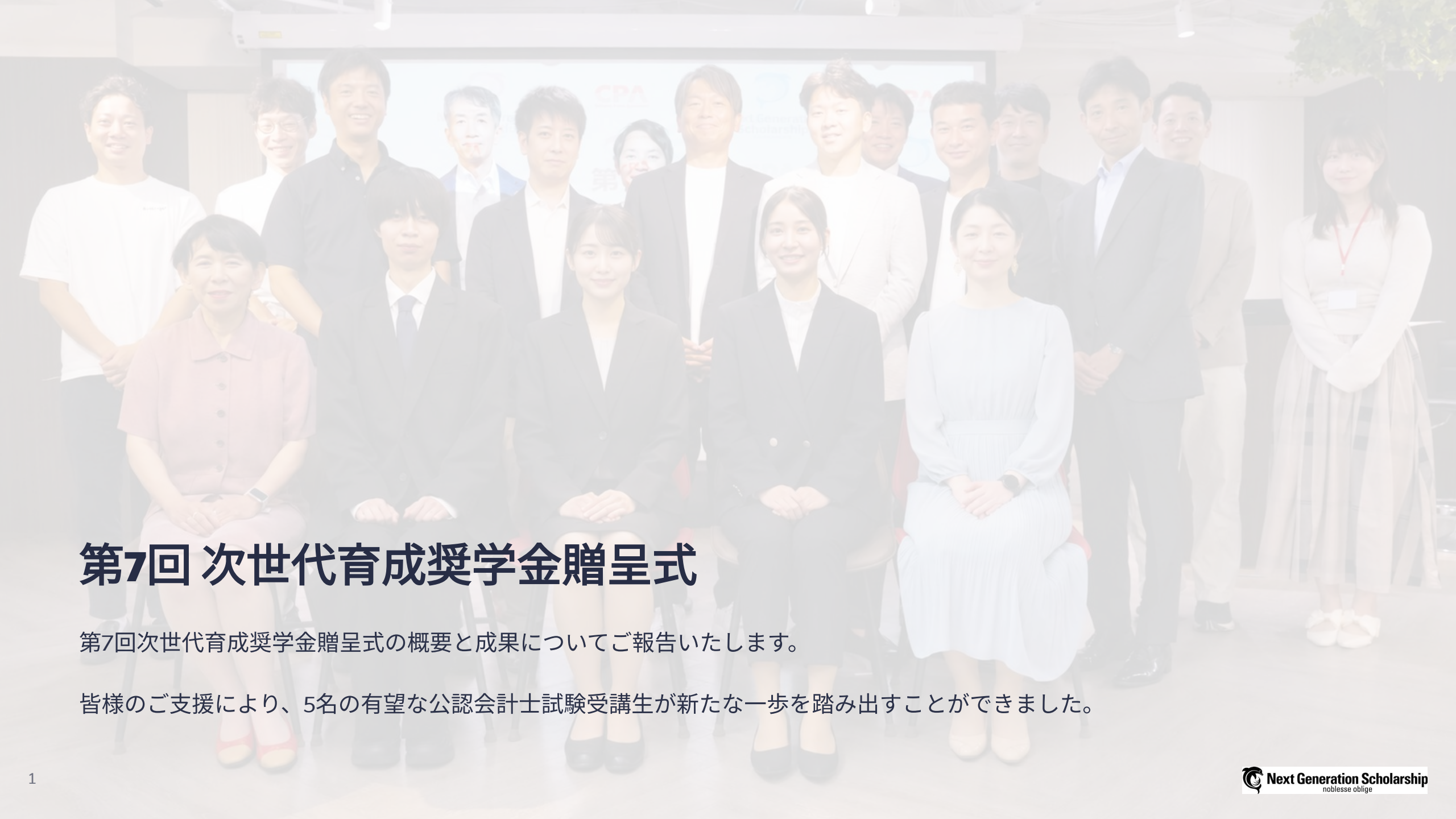


A group photograph of approximately 18 people, including men and women of various ages, posing in front of a backdrop. The backdrop features the 'Next Generation Scholarship' logo and the text '第7回次世代育成奨学金贈呈式' (7th Next Generation Scholarship Award Presentation Ceremony). The group is arranged in two rows, with some individuals seated in the front and others standing behind them. They are all smiling and dressed in semi-formal attire.

第7回 次世代育成奨学金贈呈式

第7回次世代育成奨学金贈呈式の概要と成果についてご報告いたします。

皆様のご支援により、5名の有望な公認会計士試験受講生が新たな一步を踏み出すことができました。

贈呈式の概要



開催日時：2026年9月1日(火)

会場：CPA会計学院新宿校（CPASS LOUNGE）

参加者：奨学生3名、寄付者・関係者約10名程度

選考を経て選ばれた5名（内、当日参加者は3名）の奨学生と、ご支援いただいた寄付者の皆様が一堂に会し、和やかな雰囲気の中で贈呈式を執り行いました。

はじめに

皆様のご支援のおかげで、今回第7回となります次世代育成奨学金において、計5名の若手公認会計士試験受講生へ支給を行うことが叶いました。

ここに2026年9月1日に開催された奨学金贈呈式の概要と選定プロセスの概要についてご報告させていただきます。

引き続きご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

奨学金制度の概要

名称

次世代育成奨学金

タイプ

給付（贈与）型 ※返済不要

支給者数

5名

対象者

CPA会計学院にて2027年合格目標の上級コースに入会されていること

2026年（令和8年）短答式試験を受けていること

世帯年収が600万円以下であること ※応募にあたり課税証明の提出が必要です。

審査

一次選考 書類審査 ※600字程度の課題文あり 二次選考 面談審査 ※遠方の方に関してはWEB対応可

応募期間・支給額

応募期間：2026年7月1日～2026年7月末（短答式試験受験者対象） 支給額：2027年合格目標 上級コース受講料全額 ※割引にて入会されている場合は、割引後の金額となります。

スポンサー

本奨学金支給スポンサー 公認会計士有志一同

選考プロセスのハイライト



書類選考

31 名

書類審査を実施 ※過去最高



面談選考

17 名

面談審査を実施



奨学金受給者

5 名

贈呈式（内、2名は当日所要のため欠席）

今回の選考では、経済的な支援の必要性だけでなく、公認会計士としての将来性や社会貢献への意欲も重視して選考を行いました。

ご協賛パートナー

今回、次世代育成奨学金にご協賛頂きました皆様、ありがとうございました。

株式会社ブルータス・マネジメントアドバイザー 代表取締役 門澤 慎 様	公認会計士 渡邊 淳 様	すぎうら会計 SGコンサルティング株式会社 杉浦 純平 様
RSM清和監査法人 パートナー 公認会計士 中村直樹 様	公認会計士 中川 周 様	アドホック・ファミリーオフィス株式会社 代表取締役 土井 一真 様
公認会計士 玉木 諒 様	リンクパートナーズ法律事務所 弁護士・公認会計士 代表 菅沼 匠 様	公認会計士 江黒 崇史 様
公認会計士 奥谷 浩之 様	税理士法人NEXPERT 代表 浅利 圭佑 様	一般社団法人SHLD 黄泰成 様
株式会社RealLight 山本 雄三 様 、 足立 將 様	株式会社WARC 山本 彰彦 様	株式会社ラルク 加藤 陽一 様
SYS Accounting Group 合同会社 横山 武彰 様	公認会計士 伊藤 章子 様	中森公認会計士事務所 中森 真紀子 様
公認会計士 辻 さちえ 様	公認会計士 梅澤 真由美 様	公認会計士 大川 紗苗 様
公認会計士 飯塚 幸子 様	公認会計士 高安 彰子 様	公認会計士 水谷 翠 様
(株)コンフォートコンサルティング 矢野 奈保子 様	Minami Fuji Group メンバー 一同	

振り返り

次世代育成奨学金として2023年9月にスタートした制度も無事に第7回を支給を終えることができました。ひとえに趣旨に賛同いただけるスポンサーの皆様のお力添えのおかげです。改めて御礼申し上げます。

この制度を運営していて「奨学金を支給させて頂く我々自身が、受験生の皆様から多くの学びを得ている」ということを毎回の選定プロセスで感じています。

制度開始当初は、我々の勝手な価値観で「専ら金銭の支給をする我々が与える側であり、支給を受ける受験生側は与えられる立場である」と考えていたことを今となつては、恥ずかしく思います。

現代を生きる若者の生活環境は、我々が社会人として世の中に駆け出した1990年代、2000年代とは大きく異なります。この傾向は、我々の子世代、孫世代まで続くのやもしれません。

このような活動を通じて、少しでも多くの若者にチャレンジする機会を保証し、次世代を担う若者の排出に貢献していければと存じます。



新たな可能性を育成、次世代へとつなぐ

第7回次世代育成奨学金贈呈式

皆様のご支援を心より感謝申し上げます。

引き続き皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。